

2025 年 5 月 13 日
経営企画部 広報・IRG

2025 年 3 月期決算説明会 主な質疑応答

【質問】

中期経営計画の期間中、設備投資が減少した背景は？

【回答】

中期経営計画策定段階では好調が持続すると想定していた半導体市況が、コロナ禍などの影響により悪化し先延ばししたことと、自社内での生産性の改善が進んだことで計画期間中の設備投資を削減。

【質問】

半導体市場でのレジスト架橋剤の引合いが増加しているとのことだが、御社は半導体向けでビニルエーテル製品もあり、広くラインナップしていることが強みと評価しているか？

【回答】

当社は「キラリ＝One&Only」の追求を重視しており、当社の強みを活かせる領域に注力していく戦略をとっている。半導体向け製品で高シェアの製品群があるが、これらの強みを更に強化することやお客様を広げることで成長を図る。特に、アゾール系の半導体向け製品については、いくつかの研究機関やお客様との協力により用途展開や新製品開発を進めている。

【質問】

設備投資について、主な設備投資削減案件は、実施時期の延期という理解で良いか？また、このうちの反射シート製品関連の設備投資は、いつ実施するのか？

【回答】

実施時期の延期という理解で差し支えない。反射シート製品関連の設備投資についても、来期からスタートする次期中期経営計画の中で実施時期を明確にしていく予定。

【質問】

レジスト架橋剤の引き合い増加について、増設投資の考えはあるか？

【回答】

需要動向を見ながら判断するが、現在のところ現有の設備で対応できると考えている。

以上